

関東甲信越支部長活動報告

2012年3月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

UIA 東京大会を運営してきた日本組織委員会（JOB）が解散しました。昨年の大震災を受けて大会開催の是非も議論されながら、「災害を乗り越えて世界が連帯し、持続可能な未来を目指す」、という新たなテーマを掲げた UIA 東京大会は成功裏に終わることができました。大会の成果を一時的なものに終わらせないため、UIA 東京大会の成果を継承する財団法人が新たに立ち上がる事になります。関東甲信越支部では本部の基本方針に合わせながら、財団法人とも連携し対外的な事業を推進して行きます。具体的な活動主体である地域会が今まで以上に地域社会や他団体との連携を進め、公益法人に相応しい活動を進めていけるよう支部を整備していきたいと思えます。

支部長活動報告

- 6日 JIA 横浜大会学術部会が開催される。基調講演者を田中優子氏にすることを部会として決定する。基調講演の後、シンポジウムを予定しているが田中優子氏の他、芦原会長、山崎亮氏にご登壇頂くことにする。
- 8日 資格制度を中心とした課題を会長、専務、資格制度委員長、法制度委員長と制度の方向性について、また本部・支部認定評議会委員人選について話し合う。東京建築士会の専攻建築士審査会に評議員として参加する。審査の後、それぞれの会で抱えている課題について意見交換する。JIA の登録建築家は約 8 割の更新率だが、専攻建築士は 4 割以下と低迷している。特に構造一級、設備一級ができて構造専攻、設備専攻の低迷が顕著だ。JIA 代表として統括一級資格の重要性を提起した。JIA 本部と士会連合会で話されている新しい資格制度については単位会で議論されていないようだ。単位会での議論が進まなければ連合会も結論を出せないだろう。
- 9日 支部役員会が開催される。5月支部総会議案について決算、予算、活動方針、等について協議する。中国上海との交流や東京三合同勉強会等、UIA 東京大会の成果が始動し始めていることを説明し、協議する。その他、会費滞納者について地域会毎の対応協議や秋の JIA 横浜大会について報告が行われた。
- 10日 東京で馬淵元国土交通大臣の講演を聴いた後、長野地域会建築祭に出席す

- る。香山寿夫先生の講演があり、時代を超越して続く建築の力を熱く語られた。懇親会、二次会と続き、夜遅くまで先生含め地域会の皆さんと呑みあかした。
- 11日 長野県建築学生卒業設計競技会の審査員として参加する。長野では信州大学生と地元専門学校生、高校生の作品が並び、大きなボリュームとなる。丸一日かけて良い経験をさせて頂いた。
- 12日 東京三会建築会議第1回をJIAで開催する。事務所協会からの呼びかけで始まったこの集まりだが、これもUIA東京大会の成果の一端だ。文京や、杉並などでは三会が共同で活動し、区への陳情することで行政から一定の評価を得ている。東京三会同円卓会議として本部や連合会とは違った具体的な視点で資格制度なども含めて勉強会を2ヶ月に1回のペースで行うことを確認した。会場は交通に便利なJIAとし、費用は3会で分担する。
- 13日 JIA横浜大会実行委員会が開催される。基調講演者として田中優子氏が決定され、引き続き行われるシンポジウムのパネラーとして田中優子氏、山崎亮氏、パネラー兼コーディネーターとして芦原会長にお願いすることを決める。3月末を期限としているプログラム募集状況が報告される。実行委員会終了後、それぞれの部会が開催される。
- 16日 最後のUIA東京大会日本組織委員会(JOB)並びに諮問委員会が開催される。決算が示され赤字もなく無事終了した事が報告される。また、UIA東京大会の成果を引き継ぐ一般財団法人設立が決議された。
- 17日 朝、栃木県大谷にて地域サミットが開催される。新公益法人移行に伴う諸手続、資格制度、アーキテクト・ガーデン、JIA横浜大会などについて報告、協議する。地域会から出ている活動報告書を元に地域会活動報告を行う。午後から保存大会が始まる。大谷の建築文化資産並びに採石場の見学をし、夜の懇親会に参加する。
- 18日 朝から大谷建築資産の活用例などを見学し、シンポジウムに参加する。
- 21日 午前中に規定類制定特別委員会を開催。午後第198回理事会が開催される。公益認定申請について外部コンサルタントと契約することを承認する。来年4月1日に登記するため、3末日の公益認定を目標としている。会員種別、支部・地域会について議論する。
- 23日 資格制度委員会が開催される。約8割の更新率となっている。登録建築家制度は建築士制度が歪んでいることに対応したことが出発点で、自分たちのための制度ではなく、消費者のための制度だ。建築家として最低限の資格を定めることが目的のはずだが、いつの間にかJIA会員資格と逆転した意味を付け始めたことに昨今の混乱の原因がある。4月13日夜、建築家倶楽部で中野地域会、大宇根元会長、河野委員長の座談会が開かれる予定。
- 27日 JOB解散パーティーが国際文化会館で開催される。5年以上進めてきたUIA

- 28日 東京大会の終わりを再確認し、感慨深い気持ちだ。
国際委員会が開催される。芦原会長も参加され、「交流から事業へ」という今後のJIA国際戦略について議論する。



支部長活動報告 2012年3月
2012年4月3日作成 上浪 寛



「アーキテクト・ガーデン2012」 <http://www.jia-kanto.org/AG2012>



「一万人の建築家展」 <http://www.10000architects.com/>